

胃エックス線検査の禁忌事項	禁忌の理由
妊娠中及び妊娠していると思われるかた	被爆による胎児への影響を考慮して受けられません。
バリウム製剤に対して、過敏症（じんましん、息苦しさ、手足が冷たくなるなど）の既往歴のあるかた	アナフィラキシーショックによる死亡事例があり受けられません。
過去2ヶ月以内に大腸ポリープを切除されたかた	術後2ヶ月以内は安全を考慮して受けられません。
過去1年以内に腹部の手術や整形外科などの手術をされたかた	術後1年以内は安全を考慮して受けられません。次年度以降は体位変換が可能であれば受けられます
腸閉塞を1年以内に起こした方。また、腸閉塞を繰り返すかた	バリウム停滞、排出困難により消化管穿孔などの重篤な合併症の恐れあり受けられません。 主治医にご相談ください。
腎臓病（人工透析）などで水分制限を受けているかた	バリウム排出困難が予想されるため受けられません
過去1年以内に心筋梗塞や脳梗塞などの病気を発症されたかた	1年以内は安全を考慮して受けられません。体位変換が困難なかた、嚥下障害があるかたは受けられません。 それ以外は主治医の許可があれば受けられます。
バリウム容器を自分で持ってお飲みにならないかた	検査中の安全を確保できないため受けられません。
自力で立位を保持することや撮影台の手摺りを掴むことが困難なかた	検査中の安全を確保できないため受けられません。
技師の指示に従って動くことが困難なかた	検査中の安全を確保できないため受けられません。
体重が130kg以上のかた	撮影装置の安全性の問題から受けられません。
検査当日の血圧が最高血圧180mmHg以上 または最低血圧110mmHg以上のかた	Ⅲ度高血圧（日本高血圧学会）に相当し、重篤な疾患を引き起こす恐れがあり受けられません。